

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年 2月25日 (火)

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備 (図1)

### 3 確認項目

既設多核種除去設備メンテナンス作業等の状況

### 4 確認結果の概要

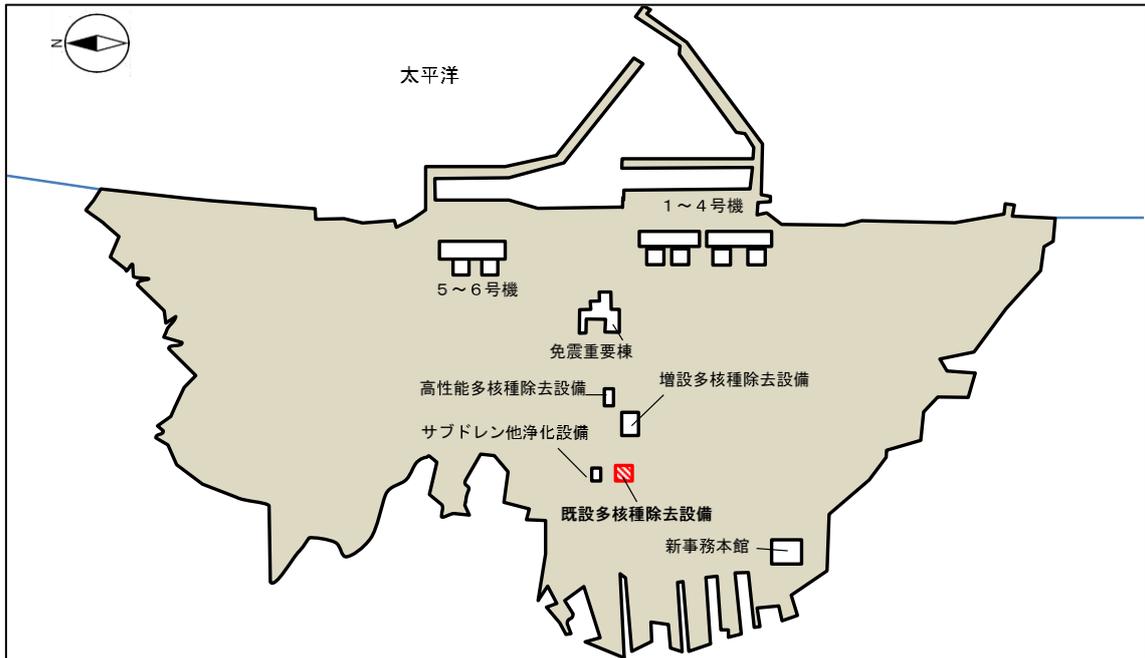
福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜、継続確認を行っている。

本日は、既設多核種除去設備(以下「既設ALPS」という。)建屋内で実施されている設備機器のメンテナンス作業等の状況を確認した。(前回確認日：令和6年12月19日)

- ・現場確認時、既設ALPS(A系、B系、C系)はメンテナンス作業等のため停止中であった。
- ・当日は、建屋内北側のバルブ交換等のメンテナンス作業の他、クロス・フロー・フィルタ<sup>※</sup>(CFF:A系)の新規ホース・ケーブル接続に伴う系統構成(バルブ操作等)を行っていた。バルブ操作に際しては、手順書やバルブ表示札をもとに操作対象バルブであることを確認していた。(写真1、2)
- ・上記作業とは別に、建屋内中央部において、スラリー拔出装置(SEDS)試運転に向けた系統確認等が行われていた。(写真3)
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。

※ クロス・フロー・フィルタ(CFF)

ろ過膜に対し平行に原液を流し固体と液体を分離するろ過方式の一種。ろ過膜の目詰まりが生じにくく、微粒子を連続してろ過できるという特徴がある。ワイン製造にも用いられる一般的なろ過方式。既設ALPSでは、汚染水の処理工程で発生する沈殿物を除去するために用いられている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
CFF：A系の新規ホース・ケーブル接続に伴う系統構成の状況①



(写真1-2)  
CFF：A系の新規ホース・ケーブル接続に伴う系統構成の状況②



(写真2)  
CFF：A系の新規ホース・ケーブル  
接続に伴うバルブ点検の状況



(写真3)  
SEDS 試運転に向けた系統構成の  
確認状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。